

令和元年度  
つながる「ふるさと」、オガチの底ヂカラプロジェクト実施要領

1 背景と目的

湯沢雄勝地域には川連漆器や稲庭うどん、清酒や味噌醤油など、秋田を代表する地場産業や伝統文化がある。これらに加え、国内や世界に誇るトップクラスの技術を有し、長年、地域とともにその歴史を刻んできた企業や事業所（以下、「企業等」という。）も多く存在している。

一方で、こうした郷土の素晴らしい産業や文化の魅力に触れる機会が少ないまま、また、産業側も若者等への効果的な情報発信が少ないまま、多くの若者が進学や就職を契機に域外に転出しており、地域人口の社会減、ひいては地元企業等の深刻な人材不足を招く一因となっている。

本事業は、地元産業が積極的に、自らの特徴を子どもたちや若者等に発信し、また子どもたちや若者等も、学びや地域活動等で地元の産業との主体的な関わりを持つ機運を高め、地元企業への貢献や就職等、地元産業の持続的な発展に向けたきっかけを創出するものである。またその過程で、異業種同士の交流を深め、既存の連携の枠組みを超えた新たな事業活動により、雄勝地域の魅力向上に資するものとする。

2 事業内容

(1) 実行委員総会の開催

事業趣旨の共有、プロジェクト参加者の取組意欲の喚起及び取組結果の共有のため、実行委員総会を開催する。

- ・第1回(6月14日)…事業趣旨の共有。プロジェクト参加者の取組意欲の喚起
- ・第2回(2月頃)…事業報告と次年度についての検討

(2) 管内企業等の交流勉強会「ジバゼミ」の開催

他の企業等や伝統産業の見学、体験を通して、その特長や強みを知る交流勉強会「ジバゼミ」（以下、「ジバゼミ」という。）を開催し、企業等同士の交流を促進する。また、ジバゼミにおいては、対象企業等の特長や強みなどのキーワードを拾い出すことを目的としてワークショップも実施する。

- ・開催時期：令和元年6月～10月
- ・開催回数：5回予定

(3) 地域資源カード「ジバカード」の作製及び活用方法の検討

①ジバゼミにおいて学んだ内容を「見える化」し、企業等の特長や魅力をわかりやすく伝えるためのジバカードを、昨年度に引き続き作製する。

- ・作製期間：令和元年10月～令和2年1月
- ・作製対象企業等：ジバゼミを実施した企業等

②ジバカード作製企業等を対象としたアンケート調査を実施し、ジバカードの配付実績の確認とともに、活用方法を検討する。

③地域産業学習会(仮称)の開催

ジバカードの効果的活用方法を探るため、管内の中学生及び企業等による「地域産業学習会(仮称)」を開催する。

・開催時期：令和元年秋頃

3 プロジェクト参加対象者

事業趣旨に賛同し、かつ、次に該当する者(企業・行政・関係団体等の代表者や社員、職員)とする。

- ・地域に根ざし、地域とともに共存共栄した事業活動を展開している者
- ・地元と地元の子どもたちへの熱い思いに満ちあふれている者

4 参加費用

無料(ジバゼミ等開催地までの移動は、各自負担とする。)

5 ジバゼミ等への参加申込方法

別途、事務局からの案内文書により、参加申込書に必要事項を記入の上、FAXまたはメールで事務局(雄勝地域振興局総務企画部)あて送付する。

6 主催：秋田県雄勝地域振興局